

運のこきた庄内の歴史 書き遺された

主催 (財)山形県埋蔵文化財センター

共催 庄内空港ビル株式会社



「現在・過去から未来が見える」
庄内地方の遺跡を紹介する企画展示
も今年で5回目となりました。今回は
「ほくしよ墨書」にスポットを当て、出土品を
数多く展示します。この展示を通して、
ふるさとの遺跡が身近にあることを
知ってもらえたらと思います。

開期：平成23年11月21日（月）
～12月4日（日）
会場：庄内空港ビル3階多目的ルーム

かみたかだ

上高田遺跡：平安時代（遊佐町）

河川跡から墨書土器（322点）や、古代の呪符木簡等が出土しました。出土量の多い文字は「利」「宅」「奉」、他に「吉賀」「豊」など縁起の良い文字もみられることから、祭祀に関連するものと考えられています。



木簡



須恵器（坏）

おいし

生石2遺跡：弥生時代・奈良・平安時代（酒田市）

約500点にも及ぶ墨書土器では「井（ドーマン）」のほか、「工」「才」「子」が多く見られます。また、この遺跡は県内で初めての弥生前期の土器群、靱痕のある土器、炭化米など稲作農耕を裏付ける遺物が多数出土したことで全国的にも注目されました。

おおだて

大楯遺跡：鎌倉時代（遊佐町）

箸、下駄、木札等多種類の木製品のほか、越前焼や美濃・瀬戸系の中世陶器が多く出土しました。



木製品（人形・木札）

がっき

月記遺跡：奈良・平安時代（鶴岡市）

須恵器や赤焼土器、木製品などが出土しました。今回の展示品の「阿弥陀如来」「南無阿弥陀仏」と墨書された護符が注目されました。

くまのた

熊野田遺跡：平安時代（酒田市）

「十」と書かれた土器や、文字の書かれた漆紙が付着した土器、「贄人」の記載のある木簡等、極めて貴重な資料も得られています。

ひがした

東田遺跡：平安時代（遊佐町）

墨書が認められる土器が多数出土しており、「酒人」「十」「酒」「三」「四」などの文字が多く見られます。

こうやがわら

興屋川原遺跡：古墳・平安時代（鶴岡市）

「六」「吉」「貞」と書かれた土器のほか、齋串や木簡など多数の木製品、勾玉などが出土しました。

やまだ

山田遺跡：古墳・奈良・平安時代（鶴岡市）

川跡から「駅家」に関連する木簡と合わせて、「厨」と記した墨書土器が見つかり、田川郡域に駅及び官道が存在していたことが明らかになりました。

よこだい

横代遺跡（酒田市）

川跡から人面墨書土器の他、齋串と細い串状木製品、「在」「吉」などと書かれた土器が出土しました。（齋串…祭祀儀礼等において使用する細長い削りかけの串）

うしろだ

後田遺跡：古墳・平安・中近世（鶴岡市）

中世の溝跡から多量の遺物が出土しました。その中で笹塔婆は40点確認され、この周辺で供養が行われたと考えられます。文字の内容としては「南無大日如来」、「阿弥陀如来」、「妙法蓮華経」経文の一部などが見られます。